

発行：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会
配布：全国2,040校の高等学校軽音楽部



活動を通じて、生きる力を身につける 小森康平

栃木県立佐野高等学校 軽音楽部 顧問

適切な備品購入のすゝめ

軽音楽部の標準機材

日本部活動学会 第8回大会 レポート 辻 伸介

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 副理事長

軽音協の3つの原点回帰

軽音協イベント・カレンダー／音楽・エンタメ業界の仕事 2025

2025

3

VOL.84

月刊 軽音楽部
バックナンバー

軽音楽部員必見
デジタル版記事

目標に向かって、チャレンジしよう！







全国学校軽音楽部協会

見学
歓迎

第6回 高等学校軽音楽コンテスト 関東大会






2025

3.25

TUE

10:00-18:30

会場：国立オリンピック記念青少年
総合センター 大ホール

東京都渋谷区代々木神宮町3-1

主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会／公益財団法人かけはし芸術文化振興財団

後援：文化庁

特別協賛：日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校
専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー
ギブソン・フランス・シャピン株式会社

お問い合わせ 特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会

TEL：045-913-0901 info@karel.org







全国学校軽音楽部協会



見学
歓迎

第9回

高等学校**軽音楽**コンテスト

近畿北陸大会






2025

3.29 SAT 入場無料

13:00-18:30

会場：宇治市文化センター 大ホール

京都府宇治市折居台1丁目1番地

主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会／公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団

後援（按順掲載）：文化庁

京都府教育委員会、京都市教育委員会、兵庫県教育委員会

奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、滋賀県教育委員会

富山県教育委員会、石川県教育委員会

お問い合わせ 特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会

TEL：045-913-0301 info@kksnkyo.org



www.kksnkyo.org



全国学校軽音楽部協会





見学
歓迎



第11回 高等学校軽音楽コンテスト 中部大会











2025 3.30

SUN 入場無料
13:00~18:30

会場：名古屋文理大学
文化フォーラム 中ホール
稲沢市民会館 愛知県稲沢市王明寺3-114

主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会／公益財団法人かけはし芸術文化振興財団

後援（新刊未満）：文化庁・愛知県高等学校文化連盟・愛知県教育委員会
岐阜県教育委員会・静岡県教育委員会・三重県教育委員会
名古屋市教育委員会

お問い合わせ 特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会
TEL：045-913-0801 info@ksanjiyo.org



全国学校軽音楽部協会

オリジナル
楽曲募集
応募締切
5/31[±]

第3回 全国高等学校軽音楽部

オリジナルソング
グランプリ

バンド 弾き語り DTM GarageBand インスト(歌なし)

詳しくはこちら

全国約4,800校の 高校に軽音楽部を！

※現在、軽音楽部があるのは**2,042校**です（令和6年11月1日当協会調べ）

軽音楽部の諸活動を通して若者の成長を応援しています

1 軽音楽部を知ってもらおう

軽音楽部は、部活動としての歴史が浅く、古いポピュラーミュージックやバンドへの偏見も一部に残っており、正しく認知されていないのが現状ですが、軽音楽を通じた部活動の有意義さを学校内外へ広めましょう

2 地域や社会に貢献しよう

軽音楽部の活動は、日々の練習や演奏会などへの出演、大会やコンテストへの参加だけにとどまらず、音楽を通して、地域や社会貢献につながる活動をしましょう

3 自主自律した部活動を目指そう

学校教育の一環と言われる部活動のひとつとして、VUCA* と呼ばれる、正解のない時代に翔ける人間の育成を目指し、生徒自身が考えて行動する部活動を目指しましょう

*VUCA（ブーカ）とは、Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）という4つの単語の頭文字をとった言葉で、先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態を意味します

当協会の理念や活動内容にご賛同いただける方々のご寄付をお待ちしております
詳しくはこちらまで…



特別賛助会員の皆様（敬称略／順不同）

株式会社ミュージックネットワーク	ギブソン・ブランド・ジャパン株式会社
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団	フェンダーミュージック株式会社
一般社団法人サトヤマカイギ	有限会社エムエージー
名古屋芸術大学	株式会社トップトラベルサービス
宝塚大学	株式会社福々家（モアリゾート、ホテル寺尾温泉）
日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校	音楽ロッヂ ゆうげん荘
専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー	株式会社オーティーズ
専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー	株式会社サウンドハウス
専門学校大阪ビジュアルアーツ・アカデミー	株式会社池部楽器店
名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校	

特定非営利活動法人
全国学校軽音楽部協会
keionkyo.org



■月刊 軽音楽部 VOL.84 ■創刊：平成25年12月18日（水）■新創刊：令和6年3月25日（月）■第14巻3号通巻84号
■監修・発行／特定非営利活動法人（NPO法人）全国学校軽音楽部協会 JASLMC（Japan Association of School Light Music Club）
〒224-0003 横浜市中区中川中央1-37-6-405 TEL：045-913-0901 FAX：045-913-1900 E-Mail：info@keionkyo.org
■企画・編集／株式会社ミュージックネットワーク

interview



受賞校顧問に聞く

活動を通じて、生きる力を身につける……4

栃木県立佐野高等学校 軽音楽部 顧問

小森康平

日本部活動学会 第8回大会 レポート……15

軽音協イベント・カレンダー……17

contents

適切な備品購入のすゝめ

軽音楽部の標準機材……6

音楽／エンタメ業界の仕事 2025

映像の仕事（ミュージックビデオ）

専門学校大阪ビジュアルアーツ・アカデミー……18

From Chief-In-Editor

「継続」の先へ

創刊以来、11年。私たちは「継続は力なり」を揺るぎない信念とし、全国の高校軽音楽部の皆様と共に歩んで参りました。振り返れば、この11年間で高校軽音楽部の演奏技術や創造性は飛躍的に向上し、その才能の煌めきは私たちの想像を遥かに超えるものとなりました。しかしながら、「VUCA（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）」と呼ばれる現代社会の急速な変化は、これまでの支援の在り方に新たな視点をもたらしています。

来月からは新年度が始まり、新たな仲間たちが軽音楽部の扉を叩きます。音楽やバンド活動を通して、若い彼らの無限の可能性を最大限に引き出し、才能を開花させることこそ、私たちの使命であると改めて感じています。

これからの10年は過去の10年とは明らかに異なるアプローチが求められるでしょう。従来の知識や技術の伝達に留まらず、生徒一人ひとりが自らの可能性を信じ、主体的に未来を切り拓く力を育むことが、より一層重要になると考えています。そのためには、ティーチング（教えること）とコーチング（引き出すこと）のバランスを重視し、生徒たちの自主性を最大限に尊重する支援が不可欠です。私たちは生徒たちが自ら考え、行動し、創造性を開花させるための環境づくりに全力を尽くしたいと思います。

同時に、部活動を支える顧問の先生方の役割も時代の変化と共に進化していく必要があります。生徒たちの個性と才能を伸ばし、自立を促すためには柔軟な発想と新たな教育的視点が求められます。

私たち全国学校軽音楽部協会は、顧問の先生方と強い信頼関係で結ばれたパートナーとして、高校軽音楽部の輝かしい未来を共に創造していくことを強く願っています。先生方との対話を大切にし、共に学び、共に成長する姿勢を貫き、微力ながらも最大限の貢献を目指します。

新入部員たちの加入は私たちにとっても新たな刺激と喜びをもたらします。彼らの新鮮な感性やエネルギーは既存の部員たちにも良い影響を与え、部全体の活性化につながるでしょう。

高校軽音楽部の可能性は、まさに無限大です。私たちはその無限の可能性を信じ、生徒たちが夢を追いかけ、才能を羽ばたかせ、最高のパフォーマンスを発揮できる舞台を提供するため、これからも情熱と誠意を持って支援を続けて参ります。

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 理事長 三谷佳之

入賞校顧問に聞く

いろいろな場面で周りの人たちから応援されるような部員であり、部活動であるために…

活動を通じて、 力を身につける

小森康平

栃木県立佐野高等学校 軽音楽部 顧問

小森康平

1996年栃木県生まれ。佐野高校に赴任して4年目。同校軽音楽部顧問も4年目。担当教科は地歴公民の地理。学生時代に世界一周を目指すもコロナ禍となり断念し、卒業後に就職。プロ野球の応援歌が好きで、球場では熱唱している。

●「第2回 全国高等学校軽音楽部オリジナルソング・グランプリ（弾き語り部門）」での優秀賞、おめでとうございます。受賞した丸山凱君は、どんな生徒ですか…

小森…丸山君は学校では生徒会長を務めている子です。性格は極めて真面目なのですが、時々面白い発言を挟んだりするなど、ユーモアのある生徒です。学習面でも学年でトップに近いような成績を取っており、勉強も部活動も、どちらも一生懸命に励んでいます。

本格的に楽器を手にし始めたのは軽音楽部に入部してからなのですが、中学生の頃から自分で歌ってみたり、ギターを少し触ってみたりしていたそうです。今回受賞した「スパーク」は2曲目のオリジナル曲と聞いています。他にも公表していない楽曲はあるかもしれないのですが、私が聞いたことがあるのは2曲です。

●現任校への着任時期や顧問歴は…

小森…本校への着任は新卒採用のタイミングなので、4年前になります。軽音楽

部の顧問歴は同じく4年目です。高校時代は野球部に所属していたので、音楽や楽器の経験はまったくありません。振り返ると、この4年間で部員数が増えました。4年前は各学年で7名ずつくらい…3学年でも20名くらいだったのですが、今では1年生も2年生も25名ずつくらいが在籍しているので、50名超の部員数になりました。

●部員数やバンド数、コーチなどは…

小森…部員数は1年生と2年生を合わせて、45名です。バンド数は12バンドが活動しており、コーチなどはいません。

活動費については、学校の生徒会予算として、年間で4万4千円をいただいています。また、参加費がかかるイベントに出演する際や年間予算を超過してしまいうような時だけ生徒からも部費を徴収しています。

●普段の活動と年間を通した行事は…

小森…普段の活動内容に関してですが、

本校は練習場所が1箇所しかないのですが、ローテーションのようなシフト表を組んで、12バンドで順番に1時間ずつ使用しています。バンド数が多いので、各バンドの練習時間は1週間に1時間しかありません。それだけでは時間が足りないバンドや熱心なグループなどは地元にあるライブハウスを借りて練習しているようです。練習日ではないバンドのメンバーは個人練習をしたり、教科の勉強をしたり、帰宅する人もいるなど、自由に過ごしています。

年間の行事予定ですが、確実に決まっているものは9月の「文化祭」です。文化祭でのステージ発表は毎年行っており、軽音楽部のメインイベントとして、代々力を入れて取り組んでいます。私が赴任してきて4年前は、この文化祭くらいしか発表の機会がありませんでした。その後、部員数が増えたこともあり、地域との様々なつながりも生まれ、イベントなどと呼んでいたことが多くなりました。

今年度については、5月に佐野駅前

「さのクールアースデー」というイベントが開かれたのですが、そこで演奏の機会をいただいたり、6月にも同様のイベントが行われて、本校も参加しました。また、7月には栃木県で初めての県大会「栃木県軽音楽部バンドコンテスト」が開催され、本校も出場しました。

8月には軽音協さん主催の「高等学校軽音楽コンテスト関東大会」があるほか、9月には文化祭があり、9月末～10月上旬にも佐野駅前のイベントに出させていただったり、11月には足利市のイベントにも参加するなど、毎月のペースで演奏の機会を作ることができました。

●貴校ならではのユニークな活動は…

小森…2年生の総合学習の時間で「課題研究」に取り組んでいるのですが、あるグループが「音楽を通して地域を活性化する」ということをテーマに研究しています。そのグループが企画したイベントが夏と冬に2回ずつ行われて、本校の軽音楽部も参加したほか、他校の軽音楽部

もいたり、部活動には入っていないけれど、バンド活動をしている高校生もおり、新たな交流が生まれました。

佐野駅前で行われているイベントにお誘いいただくのも本校の部員には活動の大きな励みになっています。人通りの多い駅前のスペースなので、たくさんの方々に聴いていただけますし、部員たちは緊張しながらも楽曲のメッセージを伝えようと頑張っています。イベントを通じて、軽音楽部への理解が深まり、もともと周りの方々から応援してもらえる部活動にしていきたいです。

●部活動を運営する際の方針や目指しているものは…

小森…部長を中心に生徒たちが主体となっていて、部活動に取り組んで欲しいと考えています。日々の練習計画をはじめ、文化祭や校外でのライブを企画したり、諸連絡や各方面との調整を行うなど、社会人として必要な能力…ひいては「生きる力」を部活動での経験を通して、身につけて欲しいですね。いつも話し合いをさせており、顧問の独断ではなく、「自分たちで決めるように…」というのを心がけています。まずは取り組んでみて、「ここが反省点だね…」といった振り返りはイベントが終わった後に行っています。「まずは自分たちの力でやってみよう」という考えで、取り組ませています。

他には、ただ演奏が上手なだけではなく、聴いている人には届かないと考えていて…。私が学生時代に野球をやっていたこともあってか、野球もただ技術があるだ

●貴校の部を一言で表すと、どんな部活動ですか…

小森…私が社会科の教員なので、それっぽく言うと、高度経済成長期の「神武景気」に当たるのかな…と考えています。わかりやすく言うと、初期の高度経済成長期の好景気のような状況だと感じていて、部員数であつたり、ありがたいことに参加させていただけのイベントや発表の機会も増えているので、これから大きく成長していける、右肩上がりになる初期の段階にあると思います。そこから、岩戸景気やオリンピック景気…という感じで続いていくのですが、そんな風に本校の軽音楽部も成長して欲しいと考えています。

インタビュー・三谷暢之





軽音楽部に 必要な機材 & 備品

軽音楽部にはどんな機材が必要なのか…。比較的新しい部活動である軽音楽部では、必要な機材 & 備品に対するきちんとしたガイド・ラインのようなものはまだなく、運動部や吹奏楽部など他の部活動とも環境や事情が違うので参考程度にしかありません。しかし、これからの軽音楽部像も視野に入れて環境を整備していく方が、コスト的にも部員の活動にとっても有効であることは間違いありません。

個人の機材と備品の線引き

学校それぞれで、練習場の数や広さ、部員数やバンド数、騒音問題、予算などの状況に違いがあり、一口に「軽音楽部に必要な機材 & 備品とは」と言ってもかなり幅があると思います。重要なのは、「部活動として」どれぐらいの機材が必要か、ということになるでしょう。

必要な機材、すなわち「学校が備品として用意しておくべき機材」を考えるポイントはいくつかあります。まず大切なことは、「個人の機材と備品の線引き」です。例えば、ドラム・セットは太鼓やシンバルを単品で買い揃えるよりも、メーカーがセット売りしているものを購入した方が断然お得です。しかし、セットには大抵スネア・ドラムやキック・ペダルも含まれていますが、この2つはドラマー部員がそれぞれで持参すべきだとも言えます。ギターやベースと同じ考え方です。そうすると、キーボードやマイクはどうか？という疑問も湧いてくることになり、備品の線引きが変わってきます。

とは言え、ドラムはセットで購入するべきだと思います。セットのスネアとペダルは初心者のみ使用可にして、なるべく早くマイ・スネア、マイ・ペダルを持つように努めましょう。自分の機材を使うことによって、「音」への関心が高まり、良いプレイをするためにどんどん知識欲が膨らんでいくと思います。そう考えると、キーボードも同様に部員それぞれがマイ・キーボードを持参の方が断然有効です。近年のキーボードは小型化、軽量化が進み、女子でも楽に持ち運べます。もちろん、価格も一昔前、二昔前に比べて段違いに安くなっています。マイ・キーボードがあれば、個人練習や音色作りに時間をかけることができ、いつも同じキーボード

で演奏することで、自分もプレイしやすく、バンド・サウンドもまとまっていきます。時代に合った線引きを考えましょう。

共用した方が良いものが備品

では、ボーカル・マイクはどうでしょうか。ドラムやキーボードの例で言えば、ボーカリストそれぞれがマイ・マイクを持参した方が良いように思えます。もちろん、機材を大切にする気持ちも育まれ、衛生面を考えると、マイ・マイクを使う方がお勧めです。しかし、現在一般的にボーカル用のマイクとして使用されているのは、SHURE 社の SM58 がほとんどです。他に軽音楽部に見合った機種はたくさんありますが、価格、丈夫さに加え、大会などで使用されるボーカル・マイクがまず SM58 であることを考えると、マイク選びはほぼ一択になります。仮に、ボーカリスト全員が性能の違うマイクを持参した場合、マイクごとのミキサー調整が面倒なだけではなく、スピーカーにうっかりマイクを向けてしまっただけでハウリング現象を起こす可能性も高まります。現在では、マイ・マイクの購入は「SM58 であること」という条件付

きになるので、それならば備品として揃えておこうという選択肢も出てくると思います。

また、ケーブル類や延長コードなども、個人で用意するべき範囲に基準がないものの1つです。一般的には、ギターやベースのシールド・ケーブルは個人持ち、キーボードのシールド・ケーブルやマイク・ケーブルは備品、となっている学校が多いと思います。しかし、ケーブル類は楽器にとって大事な備品です。音を出すことへの責任を自覚させるために、キーボード本体が学校の備品であってもシールドは個人が持参すべきでしょう。マイク・ケーブルは「キャノン端子」ですが、ギター用と比べて価格は変わりません。マイ・マイクであれば、普段の練習ではケーブルも個人持ちが自然です。

「初心者にはスネア・ドラムやキーボードなどを選んで買わせるなんて無理だ」という意見もよく聞きます。しかし、同じ状況でギターやベースを用意してくる部員がいることも事実です。

「部活動」としての基準を

個人の機材か備品かを線引きする基準は、いわゆる「バンド活動の常識」に起因するのでは



◀「軽音楽部に必要な備品」「軽音楽部に見合った機材」を考えてみる

適切な備品購入のすゝめ

軽音楽部の標準機材



軽音楽部は数ある部活動の中でも、学校が用意する備品や機材が多い部活動だと思います。バンドごとの活動が主な軽音楽部では、バンド練習に使用する部屋の数だけ機材が必要になります。また、軽音楽部は電気を使う機材が多いので、修繕や買い替えも他の部活動に比べ多くなりがちです。当然予算は膨らみ、顧問の皆さんは毎年やりくりにご苦労されていることとお察しいたします。今回は、軽音楽部にとって最低限必要で、学校部活動に見合う機種を「軽音楽部の標準機材」と題して紹介します。もちろん、好みや環境によつての違いなどもあると思いますが、今後の音楽業界 & 楽器業界の動き、軽音楽部の向かっていくであろう方向性などを鑑みて選んでみました。それぞれの学校のご事情に合わせて参考にいただければ幸いです。

今回紹介する機材や備品は、あくまでも「機能や価格が軽音楽部に見合う機種の例」として掲載しており、特定の商品の購入をお勧めするものではありません。実際の購入やご相談は、全国学校軽音楽部協会までお気軽にご連絡ください。



ギター／ベース、キーボードに必要な機材 & 備品

エレクトリック楽器を使用する軽音楽部では、それらを出力するための機材が必要です。最も重要な機材としては「アンプ」が挙げられますが、近年の機材事情は数年前と比べると、その性能も使い方も大きく変わっています。ギタリスト、ベーシスト、キーボーディストの部活動に見合う機材を考えてみましょう。今回はギター本体、ベース本体、キーボード本体、エフェクターは個人で持参するものと考えます。

ギター・アンプ

エレキ・ギターとセットで必要不可欠な「ギター・アンプ」ですが、購入に際し最もポイントとなるのは「出力数（ワット数）」です。アンプ自体の大きさや重さ、価格に反映します。ギターの音作りをエフェクターで行うことが一般的になってきた現代では、ギター・アンプに求められるのは「クリーン・サウンド」がきれいなことです。以前からトランジスタを使った「ソリッドステート・アンプ」はよく使用されてきましたが、例えば、120W ある Roland の JC-120 のような機種も、実際の軽音楽部の練習場には出力が大きいかもしれません。同じシリーズの、ワット数が少ない JC-40 くら



▲ Roland JC-40 実勢価格：65,000 円前後



▲ Marshall CODE50 実勢価格：40,000 円前後

いのパワーでも十分に対応できると思います。

しかし、エフェクターを持っていない部員が多かったり、予算を考えた場合には、今後主流になるであろう「デジタル・アンプ」がお勧めです。デジタル・アンプには数種類のプリ・アンプ、パワー・アンプ、キャビネットがモデリングされていて、多くのエフェクターも内蔵しているので、アンプ本体で様々な音作りができます。また、ほとんどの機種は Bluetooth 遠隔操作、音楽プレイヤー接続、ヘッドフォン接続、DAW（デジタル・オーディオ・ワークステーション）のインターフェイスとしての使用が可能で、まさに現代のギター・アンプです。

ギター・スタンド

ギターの周辺備品で忘れてはならないものが「ギター・スタンド」です。ベースやアコースティック・ギターも含め、ギターは必ずスタンドを使って立て掛けるようにしましょう。机の上や床に置いたり、壁に立てかけたりしておくと、蹴飛ばしたり転倒の原因につながります。

もちろん、なるべく頑丈でがっしりとしたタイプの方が好ましいですが、比較的安価なものでもちゃんと楽器を支えてくれます。バンド練習場に、2本から3本以上は必要だと考えておきましょう。



▲ KC GS103B 実勢価格：1,500 円前後

LOOK OUT!

チューブ・アンプ／スタック・アンプは必要ない!?

1970 年代以降、ロック・シーンを牽引してきたギター・アンプが、Marshall 社に代表されるスタック・アンプです。真空管（チューブ）を搭載したヘッド部とスピーカーを組み込んだキャビネット部がセパレートしているスタック・タイプは、ヘッドとキャビネットの組み合わせを変えたり、キャビネットを重ねたりすることができ、ヘッドとキャビネットが一体化されているコンボ・タイプよりも、ナチュラルな歪みが出て人気でした。しかし、アンプ自体で音を歪ませて大音量を出していた時代は「今は昔」の話。マイクやミキサー、スピーカーなどの音響機材も格段に進化し、エフェクターやアンプもデジタル化した現代では、繊細で壊れやすいチューブ・アンプや、大きくて重量もあるスタック・アンプは、現代の軽音楽部にとっては少し扱いにくい存在となってしまったかもしれません。



▲「ロック」の象徴だったスタック・アンプ

バンド練習場に必要な機材

なく、部活動としての考え方に起因するべきです。それは「道具を大切に扱う」ことや、「自分が出すサウンドに責任を持つ」こと、あるいは「部員としての意識向上」かもしれません。また、技術の発達により機材も大きく進化している現在、「今の」部活動に見合った機材とは何なのかという検討も必要です。固定概念や「そういうもの」といった古い常識を捨てて、今現在、そして未来の軽音楽部とはどんな形が理想なのかを含めた、「部活動」としての基準を構築することが重要なのではないのでしょうか。

軽音楽部に長い歴史がある学校は、機材や備品も充実しているかもしれません。もちろん、正常に動いていれば大切に使い続けていただきたいのですが、コスト・パフォーマンスが良く時代に合った機材に思い切って買い変えた方がかえって安上がり…なんてこともあると思います。また、軽音楽部が新設されたばかりでの学校や、これから機材を充実させていこうと考え

ている学校は、当然ながら低予算でなるべくハイ・クオリティーな機材を揃えたいと思われているのではないのでしょうか。

街の音楽スタジオに行ったことがある方であれば、なんとなくイメージすることができると思いますが、ポピュラー・ミュージックのバンドで演奏する場合、ドラムやアンプ類など、持ち運びが困難なもの、マイクやマイク・スタンドなど、なるべく共用で使って欲しいものが、いわゆる「備え付け機材」となります。

標準的なバンド練習場 1 部屋に必要な機材 & 備品

ボーカル	ボーカル・マイク … 「ダイナミック・マイク」推奨。マイク・カバー部分のグリルだけ交換可能。コーラス用も必要。 マイク・スタンド … 「ストレート・スタンド」と「ブーム・スタンド」があるが、ブーム・スタンドで転用可能。 マイク・ケーブル … マイク接続側もミキサー接続側も、「XLR 端子（キャノン・ケーブル）」のタイプを使用。 ボーカル・モニター … 通称「コロガシ」。12 インチ・コーン、600W ほどでも許容。スピーカー・ケーブルも必要。
ギター	ギター・アンプ … コンボ・タイプの「ソリッドステート・アンプ」「デジタル・アンプ」推奨。40W ほどでも許容。
ベース	ベース・アンプ … コンボ・タイプの「ソリッドステート・アンプ」「デジタル・アンプ」推奨。150W ほどでも許容。
ドラム	ドラム・セット … 2 タム、2 クラッシュ・シンバルがスタンダード。ドラム・ヘッド、シンバルは予備も必要。
キーボード	キーボード・アンプ … 「デジタル・アンプ」推奨。80W ほどでも許容。ミキサーとつなぐシールドも必要。 キーボード・スタンド … 「X 脚」タイプ推奨。アルミ・タイプでも許容。
音響	ミキサー … 「アナログ・ミキサー」推奨。最低 6 チャンネルは必要。 PA スピーカー … 「パワード・スピーカー」推奨。12 インチ・コーン、1000W ほどでも許容。スピーカー・ケーブルも必要。
その他	ギター・スタンド … アルミ・タイプでも許容。ギター、ベース共用。 ドラム・マット … カーペット・タイプ推奨。1600mm × 1800mm ほどでも許容。 ドラム・ミュート … バス・ドラムのミュート材。購入しなくても毛布などで代用可能。 延長コード … 3 口以上のタイプを 3 本ほど用意してあると良い。5m 以上推奨。「電源ドラム」でも可。 譜面台 … アルミ・タイプでも許容。穴あきタイプではない方がベター。3 台ほど用意してあると良い。

①ボーカル&ギター ②ギター ③ベース&コーラス ④ドラム ⑤キーボードの場合に必要な機材





ドラムに必要な機材 & 備品

ドラム・セットは、複数の太鼓やシンバルが1つの楽器として組み上がっているの、後から個別の変更や付け足しが可能です。セットは、リズム・パターンを叩くバス・ドラムとスネア・ドラム、ハイハット・シンバルの3点に、シンバル、タムタム、スタンド類がセットになったものがスタンダードです。しかし、材質や価格、大きさに幅があるドラム・セットのセレクトは悩みどころです。

ドラム・セット

現在の一般的なドラム・セットでは、バス・ドラムの上に2つのタムタムがある「2タム」スタイルが標準として販売されています。また、ドラム・セットの各楽器には様々なサイズがありますが、時代によって口径や深さに流行が見られます。現在ではバス・ドラムが22インチ、タムタムが10×7インチと12×8インチという大きさがスタンダードです。タムタムは、一昔前から比べると小ぶりになっていますが、女子の多い軽音楽部ではちょうど良いかもしれません。バス・ドラムにも小さめの20インチ、18インチなどもあり、日本人にはその大きさで十分だという説もありますが、大会などでは22インチが使用されることがほとんどなので、現段階では22インチがお勧めです。

シンバルは、16インチと18インチのクラッシュ・シンバルがそれぞれ1枚ずつ、20インチのライド・シンバルが1枚、14インチのハ



▲一般的な2タムのセッティング

イハット・シンバルが1組(2枚)というのが一般的です。必然的に、シンバル・スタンドが3脚、ハイハット・スタンド1台が標準セットになります。市販のセットでは、シンバルが別売だったり、クラッシュ・シンバルが1枚だったりすることもあります。予算に余裕があれば、追加で揃えておきたいところです。

基本的なセットには、他にスネア・ドラムとキック・ペダルも付属しています。

ドラム・セットの価格差は、主に胴体部「シェル」の材質、及びプライ数の違いが大部分を占めます。標準的なドラムはメイプル、ビーチ、ポプラなどの木材を使用していますが、それらを何枚重ねているのがプライ数です。しかし、種類の違う木材を何層にもサンドイッチしていたり、加工処理の違いでもかなり差はあるので、一概にどれがベストかは言えません。プライ数も、時代によって流行があるので、あまり気にしなくて良いでしょう。

最も安価なのがポプラ材ですが、かつてはほとんどのド



▲シェルの内側

ラムがポプラ材で作られていたほどポピュラーな材なので、軽音楽部の練習用にも問題なく使用できます。

ドラム・マット

ドラム・セットをセッティングする時には、滑り止めと床を傷つけないように下にマットを敷きます。一般教室を練習場に行っている場合は必需品です。ゴム製、ウレタン製、カーペット、絨毯など材質には様々ありますが、演奏中にズレてしまわないような少し重めのものがベストです。大きさは、ドラム・マット用と記載されていれば問題ないと思いますが、電子ドラム用だとセット全体が乗らないので注意が必要です。少なくとも1600mm×2000mmはあった方が良いでしょう。



▲YAMAHA DM2016 実勢価格：20,000 円前後



▲TAMA Imperialstar 実勢価格：100,000 円前後

ベース・アンプ

ベースの音を出すためには、「ベース・アンプ」が必要です。ギター・アンプで代用することも可能ですが、ベースらしい低音が出せず、故障の原因にもなるのでお勧めできません。きちんとベース用のアンプを使いましょう。しかし、プロのステージで見かけるような大きなベース・アンプは、軽音楽部にとっては過度なものと言えます。環境にもよりますが、練習場で使うのであれば、出力は150Wから200Wもあれば十分でしょう。

ベース・アンプも、ギター・アンプと同じようにヘッド部とスピーカー部が分かれた「スタック・タイプ」と、その2つが一体となった「コンポ・タイプ」があります。お勧めはもちろんコンポ・タイプです。近年のベース・アンプには、音楽プレイヤーが接続できるAUX端子や、ヘッドフォン・ジャックも付いていることが多

く、個人練習用としても重宝します。

ギター・アンプと同じように、ベース・アンプにもデジタル・アンプがあります。複数のアンプがモデリングされ、多くのエフェクターが内蔵されています。



▲Ampeg BA-115V2 実勢価格：70,000 円前後

キーボード・アンプ

エレクトリック・ピアノやシンセサイザーのようなキーボードは、スピーカー内蔵の機種もありますが、バンドで合奏する時にはギターやベースと同様、アンプを使って音を出します。

方法としては2種類あり、キーボード本体とキーボード・アンプをつないでギター・アンプのように使う方法と、キーボード・アンプのアウト・ブットからミキサーにつなぎ、キーボードの音をPAスピーカーから出す方法です。後者の場合、キーボード・アンプは自分の演奏を聴くモニター・スピーカーとして使用し、PAスピーカーの音量はミキサーで調節します。

キーボードに内蔵されている音源は、基本的にステレオで鳴らすようにできているので、できればシールド・ケーブルを2本ずつ使って、ステレオで出力しましょう。



▲Laney AH80 実勢価格：60,000 円前後

キーボード・スタンド

キーボードを演奏する際には、キーボード・スタンドが必要です。机や台の上において演奏することも可能ですが、いざステージに立つ時にそれでは見栄えも良くありません。また、ライブで突然高さが変わると弾きにくい場合もあります。立って演奏するのか、座って演奏するのかも含め、普段からいつも同じ高さで弾くためにキーボード・スタンドは必須です。

キーボード・スタンドには様々な種類がありますが、楽に高さ変更ができる「X型」がお勧めです。高さ変更が簡単だと、部活動で複数の部員が使い回す時にとても便利です。近年では、丈夫で軽く、折りたたんで持ち運びやすいスタンドも多く発売されています。キーボードを2台重ねてセッティングすることが多い場合は、拡張アダプターを取り付ければ可能です。



▲HERCULES KS120B 実勢価格：8,000 円前後

LOOK OUT!

延長コードは必須

一般教室でも視聴覚室のような部屋でも、ポピュラー・ミュージックのバンド練習をするには、アンプをコンセントにつながなくてははいけません。アンプを設置する場所にもよりますが、ほとんどの場合「延長コード」や「電源ドラム」が必要となります。エフェクターを使ったりすること考えて、延長コードはメンバー1人に1本とっておきましょう。もちろん、個人で用意すべきものとしておくのも良いと思います。



▲3口、5mあれば安心

キーボード用備品

キーボード関係の備品は他にもあります。まずは、キーボードをアンプやミキサーにつなぐ「シールド・ケーブル」です。キーボードとアンプをつなぐケーブルは、ギタリストやベーシストのように個人で持参し、キーボード・アンプとミキサーをつなぐケーブルは備品とすることが多いようです。7m以上は必要でしょう。

また、「サステイン・ペダル」や「イス」も必要となる場合があります。ペダルは、キーボード本体と同じメーカーのものでないと正常に作動しないことがあります。イスは、クルクル回して高さを簡単に変えられるドラム・スローンがお勧めです。



▲シールド・ケーブル

▲イス

▲サステイン・ペダル



ボーカルに必要な機材 & 備品

軽音楽部では、楽器を演奏しながらボーカルをとったりコーラスをすることが多いと思います。こういった場合でも、バンドの中で歌うためには、ボーカル用のマイク、マイク・スタンド、マイク・ケーブルが必要な備品として挙げられます。さらには、ミキサーやスピーカーなどの音響機器、そして、それらをつなぐためのスピーカー・ケーブルといった周辺機材も必須となります。

マイク

ボーカル・マイクには様々な種類があり、それぞれに特性が違います。本来であれば、他の楽器のように個人個人で好みのタイプを持参するようにしても良いと思いますが、現在では大会やイベントなども含め、ほぼ SHURE 社の SM58 という同じ機種を使用しています。備品として揃える共用マイクは、SM58 にしておいた方が良いでしょう。仮に、衛生面なども考慮してボーカリスト部員にマイ・マイク購入を勧める場合も、SM58、あるいは特性が同じタイプの「ダイナミック・マイク」にしておいた方が、トラブルも少ないでしょう。

コーラスをするメンバーもいると思うので、1 部屋に 3 本ほど用意しておくかと安心です。



▲ SHURE SM58 実勢価格：12,000 円前後

マイク周辺機材

マイクの接続には、通称「キャノン・ケーブル」と呼ばれる、楽器に使うものとは異なった XLR 端子のケーブルを使います。長さは 5m あれば問題ないと思いますが、楽器を演奏しながら歌う場合を考えて、7m も数本用意しておいた方が良いでしょう。1 バンドに 5m を 2 本、7m を 1 本が目安です。

マイク・スタンドには、「ストレート・タイプ」と「ブーム・タイプ」がありますが、基本的には兼用できるので、すべてブーム・タイプで OK です。なるべく重く安定性の良いものを選びましょう。「マイク・ホルダー」が別売りだったり、メーカーによって接続ネジの大きさが違うので注意してください。



▲ CLASSIC PRO MIX050 実勢価格：1,000 円前後

▶ KC MBSC 実勢価格：4,000 円前後

ボーカル・モニター

ライブを行う際、ほとんどの場合、ボーカリストの足元には「モニター・スピーカー」があります。自分の声がしっかりと聴こえないと喉に負担をかけ、音程も甘くなります。

必須ではありませんが、余裕があれば練習場にも用意して慣れておきましょう。特に、キーボードやアコースティック・ギターを PA スピーカーから出す場合は、なおさらです。



▲ BEHRINGER VP1220F EUROLIVE 実勢価格：30,000 円前後

LOOK OUT !

譜面台を活用しましょう !

バンド練習には「譜面台」が必要です。とは言え、軽音楽部では吹奏楽部などのようにメンバー全員が演奏中、譜面にかぶりついて見るわけではないので、そんなに本数は必要ないかもしれません。

しかし、ボーカリストが歌詞カードを見ながら歌ったり、演奏を録音するための機材を置いたり、使用頻度は多いものです。特に、ボーカリストがまだ歌詞を覚えていない場合、片手にスマートフォンを持ちながらでは良い練習になりません。せめて譜

面台に置いた方が、メンバーとのコミュニケーションが取りやすくなります。

折りたたみ式のタイプでも十分ですが、余裕があれば少し丈夫できれいに収納できるものを選んでおいた方が良いでしょう。



▲ OHASHI MS114FN 実勢価格：7,000 円前後

シンバルの買い替え

販売されているドラム・セットでは、当然ながら比較的安価なセットにはクオリティーが低いシンバルが付属されています。クオリティーが低いとは、単にサウンドが良くないというだけではなく、割れやすかったり、柔らかく曲がりやすかったりという「丈夫さ」にも関わってきます。しかし、ある程度のクオリティーがあるシンバルでも、使っていれば割れてしまうものなので、消耗品だと思っておきましょう。

シンバルを買い換えるのであれば、価格と品質の安定度から 3 大シンバル・メーカーのものを選んだ方が無難です。それは、ジルジャン (Zildjian)、セイビアン (Sabian)、パイスティ (Paiste) の 3 社です。もちろん、ハイ・エンドなクラスからロー・エンドなシリーズまでラ

インアップされていますが、「厚み」も選ぶ際のポイントです。厚みを示す表記には、シンバルの重さを兼ねて、シン (Thin)、ミディアム (Medium)、ヘヴィー (Heavy) といった分け方をしていますが、共用備品にはミディアム程度のものが良いでしょう。

また、金属の塊から成形する「キャスト・シ



▲ Zildjian zbt 16 インチ・クラッシュ 実勢価格：18,000 円前後



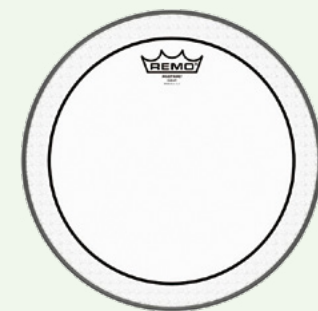
▲シンバル・ケース。PROTECTIONRACKET 6020 実勢価格：10,000 円前後

ドラム・ヘッドの交換

ドラム・ヘッドは消耗品です。本来であれば半年に 1 度は交換したいところですが、ドラム・セットすべてのヘッドを交換すると、かなりコストがかかってしまいます。とは言え、使っていれば凹んでしまったり破れてしまったりするので、必ず交換が必要になります。せめて各ドラムの打面ヘッドだけは、いつでも交換できるようにストックを用意しておきましょう。乱暴な言い方をすれば、裏面のヘッドはほとんど交換しなくても大丈夫です。

ドラム・ヘッドには様々な種類がありますが、耐久性を考えた時のポイントはやはり「厚さ」です。一般的には、比較的薄手のアンバサダー (Ambassador) や、厚めのエンペラー (Emperor) が標準ですが、共用のドラムであ

ればエンペラーの方が良いでしょう。また、構造の違いとして、透明なフィルムが 1 重のもの、2 重のもの、中央部にもう 1 枚フィルム (ドット) が付いたものなどがあり、そのすべてにコーティングを施した「コーテッド (COATED)」タイプがあります。タムタム用であれば、2 重のエンペラー・ヘッドにさらに外周フィルムを装着した「ピンストライプ (PINSTRIPE)」



▲ REMO PINSTRIPE 実勢価格：3,000 円前後



▲ REMO CS COATED 実勢価格：3,000 円前後

LOOK OUT !

バス・ドラムのミュートを忘れずに !

ロック・ミュージックのドラムの場合、楽器が共鳴することをあえて防ぐ場合があります。それは、合奏する時に他の楽器と音の分離をはっきりさせるためであり、打楽器としての出音をより「タイト」にしたいからです。

特にバス・ドラムは、そのまま演奏すると「大太鼓」のように共鳴して部屋中に鳴り響いてしまいます。打点がわかりやすく締まった低音を出すには、バス・ドラムの中にミュー

ト材を入れることが一般的です。本来は、サウンドも考慮して材質や量、設置の仕方などを考えるべきですが、最も効果的で軽音楽部に見合ったミュート方法は、「毛布」を入れることです。使わなくなったブランケットや座布団などでも構いません。バス・ドラム用のミュート材もいくつか販売されていますが、学校中を探せばきっとおあつらえ向きのミュート材が見つかるでしょう。



▲バス・ドラムのミュートは必ず行おう

音響機材 & 備品

基本的な練習場の場合、ドラムはそのまま生音で演奏し、ギターとベースは、それぞれアンプにつないで音を出します。しかし、ボーカルやキーボード、アコースティック・ギターなどは音響機材を使って音を出します。必要な機材は「ミキサー」「スピーカー」「パワー・アンプ」の3つです。現在では、軽音楽部の練習場に見合った「アナログ・ミキサー」と「パワード・スピーカー」がお勧めです。



ミキサー

マイクなどをつなげて音を補正し出力する「ミキサー」は、現在ではアナログ・タイプが主流です。販売時には、「アナログ・ミキサー」と明記されています。他には、パワー・アンプ内蔵の「パワード・ミキサー」、デジタル仕様の「デジタル・ミキサー」などがありますが、普通の練習に使う程度であれば、パワードやデジタルでなくても十分です。

ミキサー選びの大きなポイントは、入力可能な「チャンネル数」です。ボーカル・マイク1本しかつなげないのであれば、単純に1チャ

ンネルで済むわけですが、キーボードやコーラス・マイクなどもつなげることを考えると、6チャンネル以上はあった方が良いでしょう。正

確には、ボーカルやコーラスのマイクはXLR端子のモノラル、キーボードはステレオで入力するのであれば、モノラル4チャンネル、ステレオ2チャンネル以上を備えた機種が良いでしょう。

また、ミキサー本体に数種の「リバーブ」や「ディレイ」といったエフェクターが内蔵されているタイプを選んでおくと、ボーカルやアコースティック・ギターなどに好みのエフェクトをかけることができます。特に、エフェクターにあまり



▲ YAMAHA MG10XU
実勢価格：30,000 円前後

PA スピーカー

ミキサーから送られてきた電気信号を音にして出す「PA スピーカー」は、パワー・アンプを内蔵していない「パッシブ」タイプと内蔵している「パワード」タイプに分かれます。パッシブ・タイプの場合は、ミキサーがパワードであるか、別途パワー・アンプが必要になるので、手間と拡張性を考えるとパワード・タイプがお勧めです。一般教室であれば、出力は1000W、コーンの大きさは12インチあれば十分です。ステレオで出すために1部屋に2台必要です。

パワード・スピーカーは、接続が簡単で専門的な知識も少なくて済み、スピーカーの増設やケーブルの延長が簡単です。しかし、個別に電源を取らないといけないうことや、比較的重いこと、言わばオール・イン・ワンなので、どこかが故障したらすべてに影響してしまうといった点がデメリットとして挙げられます。

PA スピーカーは、机の上などにおいても構いませんが、スタンドを使用して高くした方がよく聴こえます。近年では、安価なアルミ製で、軽量、高強度の機種も多くなっています。

スピーカー・ケーブル

PA スピーカーやモニター・スピーカーは、ミキサーと「スピーカー・ケーブル」で接続し



▲ JBL EON612
実勢価格：50,000 円前後



▲ K&M 21436
実勢価格：12,000 円前後



▲ CANARE SC10-NL
実勢価格：7,000 円前後

レポート

日本部活動学会 第8回大会

「部活動改革は社会の改革である」。待ったなしの部活動の地域移行問題を考える

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会
副理事長

辻 伸介

日本部活動学会

部活動の在り方が問われる現代、多様な問題や課題を解決する方策を探るために学術的な観点からの知見や、誰もが議論や協議に参加できる共通の場(プラットフォーム)の必要性から平成29年に設立。「大会」と「研究集会」をそれぞれ年1回開催し、会報の発行、部活動ガイドライン調査、講演会「ブカツ・カフェ」の開催などを行なっている。
<https://jaseca2017.jimdofree.com/>

る研究発表や講演が多く、その関心の高さが伺えます。

今大会では、11カテゴリーの自由研究とシンポジウムが行われました。自由研究のタイトルを抜粋しても、「部活動の地域移行にともなう大学における学生指導実践について」中學生バレーボール指導・体験での調査から「中学校運動部活動地域移行について」保健体育科教員の受け止めと教科指導との関連「これから学校における新たなブカツの提案」部活動の地域移行を踏まえて「地域クラブ活動の実践」岡山市中区の小中学生吹奏楽クラブの継続を支える諸要因を探る「小規模自治体の持続可能なクラブ活動と部活動の運営について」小規模自治体の教育委員会としての取組み「と、やはり部活動の地域移行についての研究が多かったように思われます。

検討事項は「ヒト」「モノ」「カネ」

先の中間まとめで、地域移行が「地域

います。避けては通れない資金の問題は、地域部活動を連携していく時の大きなポイントとなるでしょう。現状では行政の補助も当てにしなければならず、指導者への謝金もボランティアでの協力だけでは持続していかないのではないかと考えられます。

部活動の地域展開や連携は、全国の各自治体によつて考え方も進捗も違います。都市と地方では生徒数も受け皿団体の数も違います。真室川町立真室川中学校・小野寺淳先生の研究発表では、特に小規模自治体では行政や教育委員会の連携による環境整備が不可欠だとしています。

多角的で多岐にわたる研究発表

自由研究発表では、他にも「生徒の声で創る放課後活動」主体性を重視するプロジェクト活動の実践「部活動経験を通して自治の大切さを実感する条件に関する探索的検討」などの生徒の部活動への向き合い方から、「運動部活動員が抱く

注視される「地域移行問題」

文部科学省から2024年12月に「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」の中間まとめで示された「部活動の地域単位展開の方針」を受け、今大会は部活動の地域移行に対す



Event Calender

お問い合わせ：info@keionkyo.org TEL：045-913-0901

軽音学ぶセミナー

3月26日（水） 東京都 会場：宝塚大学（スマホ撮影テクニック講座）

軽音合同演奏会

準備中

その他

3月25日（火） 第6回 高等学校軽音楽コンテスト関東大会（国立オリンピック記念青少年総合センター 大ホール）
 3月29日（土） 第9回 高等学校軽音楽コンテスト近畿北陸大会（宇治市文化センター 大ホール）
 3月30日（日） 第11回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会（名古屋文理大学文化フォーラム（稲沢市民会館））



配布校リスト

全国の約 4,800 校の高等学校の中で軽音楽系の部活動がある 2,042 校のリストです。
「月刊 軽音楽部」は顧問あてに無料配布しています。



リストはこちら





役に立つオススメコンテンツ

楽器の魅力と役割を知ろう！

軽音楽部に入部したら、バンドでの担当パート選びから始まります。迷っている人はパート選びの参考にしてください！



左のQRコードから記事を読むことができます





編集後記

今月号は「第2回 全国高等学校軽音楽部オリジナルソング・グランプリ」にて「弾き語り部門」の優秀賞を受賞した、栃木県佐野市にある栃木県立佐野高等学校 軽音楽部顧問の小森康平先生にインタビューを行いました。小森先生は「いろいろな場面で周りの人たちから応援されるような部員であり、部活動であるために…」という理念で部活動を監督されており、いつも部員たちに話し合いをさせ、顧問の独断ではなく、「自分たちで決めるように…」というのを心がけていらっしゃるそうです。日々の練習計画をはじめ、文化祭や校外でのライブを企画したり、諸連絡や各方面との調整を行うなど、社会人として必要な能力…ひいては「生きる力」を部活動での経験を通して、身につけて欲しいとのことでした。軽音楽部の現状を高度経済成長期の「神武景気」に当たると捉えており、部員数をはじめ、出演するイベントや発表の機会が増えているので、これから大きく成長していける、右肩上がりになる初期段階とのことでした。今後の活躍が楽しみです。

3月15日（土）には、専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミーにて、第6回 高等学校軽音楽コンテスト関東大会に出場するバンドを対象にした「クリニック」を開催しました。バンドのアンサンブルやサウンド面でのバランスなどを中心に音作りやアレンジ、サビへの盛り上げ方など、講師陣が具体的なアドバイスをいくつもを行い、本選を見据えたブラッシュアップの機会になりました。

同日にはオンラインにて、第9回 高等学校軽音楽コンテスト近畿北陸大会に出場するバンドを対象にした「バンドクリニック」を実施。講師の



▲関東大会の本選に出場するバンドのクリニックを行いました



▲アンサンブルや音作りについて、講師陣がアドバイスを実施

先生に演奏動画を事前に視聴してもらい、演奏面でのアドバイスをはじめ、歌詞の届け方やステージングなどをアドバイス。大阪府や京都府、兵庫県の出場校をはじめ、福井県や富山県、和歌山県の出場校も参加するなど、オンラインだからこそ、地理的な距離を越えたクリニックとなりました。

さて、3月25日から「高等学校軽音楽コンテスト関東大会・中部大会・近畿北陸大会」を開催します。ぜひ見学にお越しいただき、本選出場校（バンド）の演奏を聴いたり、審査員の講評に耳を傾けるなど、学びの機会にいただけると幸いです。



指導に対するニーズの競技間の違い」といった指導に関すること、「中学校の部活動における部の収支及び家庭の支出に関する研究」など、多角的な研究も多く見られました。

主なポイントは、「生徒による自治」と「指導の方法」などで、江南市立布袋中学

校・長瀬基延先生が実践されている、生徒の主体性による新しい部活動の形「プロジェクト部活」の取り組みや、立命館大学教職研究科・伊田勝憲先生の全国の18歳から25歳までの大学生300名を対象としたアンケートで最も相関が強かったのは「自治的達成経験」と「民主的決定の重視」の組合

せであったとの発表は大変興味深いものでした。特に、「自治の大切さ実感」との相関が相対的に強かったのは「成長実感」「協働の実践力」「自治的達成経験」「民主的決定の重視」との結論は印象的です。

また、体育授業のオンライン実施からクラブ・部活動の自治の考察（関西大学大学院・松本悠先生）や、複数の運動部活動の指導を視野に入れた「アスレティックトレーナー」の導入（関西大学・神谷拓先生他、共同発表）といった時代に沿った取り組みは、積極的な

アプローチとして有効性を感じました。

さらに、戦後以降の部活動の歴史的变化を鑑みて部活動を学校教育の中で新たに位置付け直す構想（兵庫教育大学大学院の上木雷太先生）や、中学校の部活動における部の収支、及び家庭の支出の現状と両者の関係性の研究（厚木市立荻野中学校・吉野全洋先生他、共同発表）、運動部活動の指導者に対するニーズのアンケート調査（日本経済大学・渡邊裕也先生）など、研究発表は多岐に渡りました。部活動の明るい未来へ少しでも前進していくことを期待します。

新しい「ブカツ」への変換

お昼休みを挟んで、午後からは「令和時代のブカツの在り方を探る」というタイトルでシンポジウムが行われました。今回は新しい部活動の模索という意味であえて「ブカツ」と表記されています。

まず、神谷会長から「今求められているのは自由闊達な議論です。空気を読まず積極的にご発言ください」と開会の挨拶があり、登壇した愛知教育大学・中山弘之先生が教育学の側面から「部活動問題と教育学」問題の所在を、筑波大学・朝倉雅史先生が体育学「拡張する運動部活動の学び」共同事業体構想の提案、中央大学非常勤講師・玉木博章先生が文化部に対して「文化部活動の地域移行問題が可視化するもの」を、それぞれテーマに講演されました。

シンポジウムでも、やはりテーマは地域移行問題です。中山先生は、教員の働

き方改革から部活動の地域移行に問題が変換されている。働き方が改善されても子供の学習経験が守られることが大事だと、問題を単体で見ているいけないことを指摘します。また、朝倉先生も同様に、足りないものを補う改革ではなく、新たに学校を中心とした地域ネットワーク「共同事業体構想（コンソーシアム）」を基盤とした協働を目指すべきと主張されました。

文化部の立場から玉木先生が、運動部の思考だけではなく、マイナーな文化部に目を向けることも大事。部活動を総合学習と捉え、何を学内に残し、何を出すかを令和式に変換するべきとの言葉も単眼的な見方に一石を投じる発言でした。

その後のディスカッションでは、参加者からの質問に答えるという形で、多様化している生徒の部活動への参加意識や障害を持つ生徒へのフロアアップなど、より現場に近いリアルな課題も示されました。

最後に進行役の追手門学院大学・有山篤利先生から、部活動改革とは社会の改革である。学校職員、地域が共有する理念や目的が必要であると総括の言葉があり、シンポジウムは終了し、今大会は閉会しました。

コロナ禍も喉もとを過ぎ、地域移行の問題は火急の案件です。今後、部活動がどう形を変えていけば良いのか。今大会を通して、部活動の諸問題は日本国としての「教育問題」なのだ改めて認識させられました。

文・辻 伸介

エンタメ&クリエイティブの専門学校



VISUAL ARTS

東京 / 名古屋 / 大阪 / 福岡

ビジュアルアーツ・アカデミー

ACADEMY

Akademeia 21st Century



ミュージシャン
声優・俳優・タレント
ダンス・ダンスボーカル
ネットタレント・インフルエンサー
映像クリエイター (3DCG・VFX)
テレビ放送・映画スタッフ
コンサート・舞台スタッフ
レコーディングエンジニア
サウンドクリエイター
映像音響 (MAエンジニア)
写真・デザイン
マスコミ出版
芸能マネージャー
特殊メイク

※地区によって教育分野が異なります

大学も専門学校も超える新たな学びの場



21世紀アカデメイア
Akademeia 21st Century

専門学校 東京ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 専門学校 東京ビジュアルアーツより校名変更)

専門学校 大阪ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 ビジュアルアーツ専門学校より校名変更)

専門学校 名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 名古屋ビジュアルアーツより校名変更)

専門学校 福岡ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 専門学校 九州ビジュアルアーツより校名変更)

映像の仕事
(ミュージック
ビデオ)



専門学校大阪ビジュアルアーツ・アカデミー

大変さ＝やりがいにつながります

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回は映像業界の中でも「ミュージックビデオ」にまつわる仕事について、専門学校大阪ビジュアルアーツ・アカデミーの三丸 聡先生に伺いました。

ー ミュージックビデオにまつわる仕事について教えてください

三丸：一例を挙げると、企画内容や大まかなスケジュールをはじめ、「こういう楽曲を宣伝したいんです」という依頼をアーティスト側から受け取るのが「プロデューサー」という仕事になります。次に、プロデューサーが監督を誰にするとか、カメラマンは誰にお願いしよう…といった人選（スタッフィング）を行う中で、企画が通れば、監督がミュージックビデオの内容をはじめ、現場での演出や決定権を行使して、制作を進めていきます。低予算の場合は監督がカメラマンを務めることもあるのですが、一般的にはカメラマンや照明さんをはじめとする「技術スタッフ」と呼ばれる方たちがいます。

ミュージックビデオの場合、音はレコーディングを済ませた音源を使用することが多いのですが、近年は映像の冒頭や最後に「ドラマパート」のようなシーンが入っていることが少なくないので、その際は声などを収録する「音声スタッフ」も帯同することがあります。

撮影後の部分で言うと、収録したカットのうち、どの部分をどんな順序でつなげていくか…という編集や合成が必要であれば合成をしたり、色味の調整などを行う「編集スタッフ」も携わっています。また、YouTubeで公開したり、映像作品としてDVDやBlu-rayに収録する際は、このくらいの音量が望ましい…など、音声の調整をする「MAキサー」という仕事もあります。これらがミュージックビデオにまつわる仕事の一例ではないかと思います。

ー 入学前に、ある程度の知識は必要ですか。高校時代にやっておいた方がよいことも教えてください

三丸：知識やスキルを入学前から持っていない

てはいけない…ということはありません。卒業後にミュージックビデオの業界に進む先輩たちはたくさんいますし、本校では基礎的な部分からしっかりと講義を行うので、問題ありません。

ただし、音楽に関する仕事に就きたいのであれば、いろいろなジャンルの音楽に触れて欲しいと考えています。映像業界のプロとして仕事をするので、決して好きなアーティストの制作だけを担当するわけではないですし、あまり見識がないジャンルの制作に携わることも多々あります。例えば、「今度、レゲエのアーティストを撮影するんだよね…」という場合、ゼロからレゲエについて勉強するよりもボブ・マリーをはじめとする、そのジャンルの大御所的なアーティストを知っていると、どのような方向性の作品が求められているのかわかるので、いろいろな音楽に触れておくのが良いと思います。

ー お仕事の楽しいところや、やりがいを感ずる瞬間を教えてください

三丸：ありきたりかもしれないのですが、やはり憧れのアーティストの仕事に携われるのが、一番楽しいと感じる瞬間だと思います。視聴していた側だったり、ライブに観客として参加していた自分が、憧れのアーティストと意見交換をしたり、そのアーティストが手がけた楽曲のメッセージを届けるお手伝いができるという部分に大きなやりがいを感じます。

ー 一方で、大変な点はどんなところが挙げられますか？

三丸：多忙なアーティストさんだと、撮影できる時間が4時間しかない…という場合があるんです。しっかりと準備して、撮っていいこうとすると、4時間では足りないのですが、お忙しいので、スケジュールも伸ばせないという状況

下では、絶対にミスができません。本番をいかにミスなく、スムーズに収録できるか…という準備と段取りの部分が大変であり、一番力を注がなくてはいけないところだと思います。

反対に、ミスができない本番をしっかりとチーム全体でクリアできた時の達成感というのは何物にも代えがたく、いつまでも仕事を続けたい（辞めたくない）と思う原動力になっているので、「大変さ＝やりがい」にもつながると考えています。

ー ミュージックビデオ制作のお仕事は、どんな人にオススメですか？

三丸：何よりも「映像表現が好き」という部分が絶対条件だと思います。膨大な作業量の準備だったり、緊張感のある本番というのも映像表現が好きで、このアーティストのために映像を作りたい！という思いがあるからこそ、達成感がありますし、試練も乗り越えていけるものです。

また、オンとオフを上手に切り替えることができる人にも向いていると思います。ミスなく撮影を行う傍らで、休憩時は体も頭もしっかりと休めて、また本番に向き合っていく…というオン／オフの切り替えが上手にできると、ストレスが溜まりにくいですし、本番での集中力も高まると思います。性格的にサバサバとしている人にオススメかもしれません。



▲映像素材を編集／加工し、1本のビデオに仕上げます